

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：第1・第3水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網 450-6 ユアサビル2階
TEL0475-70-0200 FAX70-0220
- 会長：高野 祐二 幹事：板倉 孝雄
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 齊藤 幸男・会報担当 石田 英世

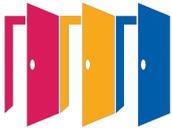


2020年12月2日(水)

第22巻第13

通巻第956号

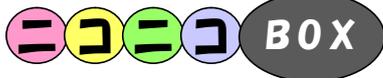
http://www.oamirotary.com
E-mail rc@oamirotary.com



ロータリーは機会の扉を開く



点 鐘 会長 高野 祐二
唱 和 四つのテスト
ソング 奉仕の理想
会長挨拶 会長 高野 祐二
幹事報告 幹事 板倉 孝雄
プログラム 誕生祝 四之宮由己会員
長谷川正行会員、小倉光夫会員、
奨学金授与式 ロシャーンさん
会員卓話 加藤 洋三 会員
「日清戦争後の台湾について」



高野祐二会長
例会、草刈り、参加出来ず申し訳ございません。
板倉孝雄幹事
13日の3ロータリークラブゴルフコンペにて、
なんと、ホールインワンをしてみました。
嬉しいやら…！
石田英世会員
皆さんお世話になりました。
大越将司会員
新型コロナウイルスの影響で4月に開催予定し、
延期されていた空手の大会が、先日無観客で無
事行われました。クラブ並びに協賛頂いた会員
の皆様にご感謝申し上げます。
3クラブゴルフのチャリティーをニコニコに。

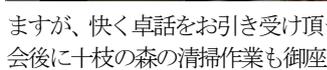
例会日	11月18日	10月21日
会員数	30	30
出席	18	18
欠席	12	12
MU	0	1
免除	0	0
出席率	60.00	63.33

会長挨拶

高野祐二会長所要の為、小倉光夫会長エレクト挨拶



皆さんこんにちは。高野会長が急遽欠席のため、代わりに挨拶をさせていただきます。会長からは卓話等かなり詰まっているので短くお願いします。が、「これだけはお願いします」と寄付BOXを預かっております。ご協力をお願いします。



本日は、米山奨学生アリム・イケラムさん（千葉大学：成田コスモポリタンRC：新疆ウイグル自治区）の卓話がございます。帯同者としてナディーシャさんもお見えです。コロナ禍ではありますが、快く卓話をお引き受け頂きありがとうございます。今日は晴天です。社会奉仕活動として例会後に十枝の森の清掃作業も御座いますので、多くの会員の参加をお願い致します。

卓話

米山奨学生 アリム・イケラム 様



皆様、こんにちは。私は昔のシルクロードの地域の1つであり中国の新疆ウイグル自治区からきたウイグル人のアリム・イケラムです。現在、千葉大学医学薬学部先端医学薬学専攻博士3年生です。今年4月から、ロータリー米山記念奨学会の奨学生になって、成田コスモポリタンロータリークラブのお世話になっております。今日、私は『私と日本』というトピックで自己紹介と共に今までの留学生活での行った活動についてお話しさせていただきたいと考えております。よろしくお話ししたいと思います。

今日出席していただいた皆様およびシルクロードについて興味がある方は、ウイグルと言う言葉はよくご存知だと思いますが、私が自分で接した若者の中でこの言葉を全然知らない方もいます。今日、まずできるだけ簡単にウイグルという言葉の由来を説明させていただきたいと考えております。

Wikipediaによると、ウイグルは14世紀から13世紀にかけて中央ユーラシアで活動したテュルク系遊牧民族及びその後裔と称する民族を指します。1つ目は中央ユーラシア、昔から私たちの先祖が住んでいた地域で、今までも私たちがこの地域で生活活動を行っております。この地域はウイグルの由来地です。2つ目はテュルク系遊牧民族、私たちはテュルク系言葉の1つでありウイグル語を使っている、別のテュルク系民族と類似な生活スタイルおよび文化を持っている民族です。この2つの言葉を覚えていただければ、ウイグルについて最初の理解ができると考えております。

また、ウイグル文化の代表としてウイグル十二ムカムがあります。ウイグル十二ムカムとは、ムカムという伝統楽器のオーケストラによる組曲です。すべて演奏すると24時間かかる壮大な楽曲で、ウイグル民衆の中で誕生し、16世紀にシルクロードで栄えた国の宮廷で洗練され、音楽と詩と舞踊の総合芸術です。YouTubeなどで探すのは可能なので、興味がある方は探してみてくださいね。もちろんこれもウイグル文化に接する良い機会だと考えております。

中央アジアの地域に住んでいるウイグル人は特に多く、この中で最も多い地域は私の故郷であり中国の新疆ウイグル自治区です。新疆ウイグル自治区は中国の最西部に位置しており、インド、パキスタン、アフガニスタン、タジキスタン、キルギス、カザフスタン、ロシア連邦、モンゴル国の8カ国と国境を接し、国境線の総延長は約5,700kmに達します。国境を接する国の数は、中国の行政区分で最大です。面積は1,665,000平方キロメートル、人口は2,500万人、主要民族はウイグル族、漢民族、カザフ族、

幹事報告

1. 11月9日開催 会長・幹事会より報告
グループ編成とガバナー補佐選任・東金RC
秋葉氏

IMの開催予定 2021年3月11日(木)
<縮小>

次回の会長・幹事会は12月18日(金)開催

2. 第2790地区関係

①2021-22年度地区委員推薦 締切 本日迄

②11月28日(土) 青少年奉仕青少年育成セミナー
ZOOMによる研修案内が追加されました。

③12月20日(日) 奉仕セミナー参加へ
職業 社会 国際奉仕の各委員会 締切今月30日

3. 本日の社会奉仕活動(十枝の森、草刈作業)
2時30分予定 4時頃まで作業 **注意して作業**
広報に掲載を依頼 市役所・秘書課 担当

次回 例会の開催、理事会開催は12月2日水曜日
理事会は11時より この場所にて

年次総会 加藤会員の卓話

お家で子ども食堂 かきつばた 寄付



小倉会長エレクトより、大越会員へ

ニコニコ報告



出席リーダー 大塚 和良 会員より

11月誕生祝い



佐藤 廣子 会員 S22 (1947) 11・11

おめでとうございます。



元米山奨学生 ナディーシャさん

回族、キルギス族、モンゴル族、東郷族、タジク族、シボ族、ウズベク族、タタール族、オロス族など多くの民族が住んでいる地域です。

なぜ新疆ウイグル自治区はシルクロードの中で最も重要な地域かと言うと、西安から始まったシルクロードは蘭州を通じて、敦煌で2つのルートに分かれます。トルファンでまた2つに分かれ、西域南路、天山南路、天山北路など3つのルートは新疆を通過する必要があります。ユーラシアへの唯一の道というのは新疆の最大の特徴です。このため昔から新疆はシルクロードで特に重要な地域として存在していました。新疆は地域が広く、四季のはっきりしたエリアなので、たくさんの自然の景色を楽しむことができます。例えば、サハラ砂漠に匹敵するタクラマカン砂漠、アルプスに匹敵する天山山脈、夏の厳しい暑さと冬の極寒などです。

次に私の出身地のウルムチ市についてご紹介したいと思います。ウルムチは、新疆ウイグル自治区首府です。自治区人民政府が設置される中国西部最大の都市です。言語・文化・経済の面などにおいて、中国の東部よりもタシュケントのようなはるか西方の各地とより強く結びついており、ウルムチは、天山山脈の東に位置する大都市で、面積は14,580 平方キロメートル(新疆総面積の1/114)、人口は250万人(新疆総人口の1/10)となっております。

私は高校卒業までウルムチで生活しました。両親とも教師で、両親の指導と影響下で、どのような人が私たちの社会の発展と進歩に貢献できるのか学んできました。大学はもっと大きな異なる文化がある大学に進むために、中国古代の諸王朝の都となった長安で、現在の西安市にある西安交通大学に進学しました。少数民族として大学入学前の一年間は国語を勉強する義務があるため、2009~2010年に中国のもう1つの大切な地域である江西省南昌市で、一年間大学入学前の予備学校で勉強をしました。

その後、2010~2014年に西安交通大学医学部の薬学科で四年間の学部生活をしました。ウイグル人の多い環境で育ってきた私が、全国各地から来た様々な民族や異なる出身の同級生と新しい環境で一緒に大学生活を過ごしました。新しい環境で、異なる文化、異なる宗教、異なる国から来た様々な方と友人になり、人との繋がりの大切さを学びました。一緒に暮らすことで、新しい人間関係を築くだけでなく、さまざまな民族や国の文化を学び、理解を深めることができました。その影響で私は大学生時代から、視野を広くもつことを最も大事にしております。そして自分の能力を磨くために2014年、大学を卒業してすぐ、日本に来て留学生活を始めました。

なぜ日本を留学先として選んだのかというと、子供の頃から大学の家族区で育ってきた私が感じたことですが、留学した周りの多くの教師や医者の中で留学先として日本を選んだ方が多かったからです。その影響で、私の中でも『日本』という素晴らしい先進的で国際化した国および民族の文化を勉強し理解したいという気が非常に強かったです。また、大学に行くと医療関連分野を自分の専門として勉強した後、医療分野世界トップである日本で最高の研究環境を取得することが可能ということもありました。こんな先進国で競争の激しい環境の中で自分の能力を磨きたい希望が非常に強かったために、大学卒業後、就職の道を選択せず、日本への留学の道を選びました。

次は私の日本での留学生活についてです。はじめに2014年10月~2015年3月、千駄ヶ谷日本語学校(東京)で半年、日本語を勉強しました。この間、千葉大学真菌医学研究センターの矢口貴志先生とお会いする機会があり、そこで勉強することを決めました。2015年4月~2016年3月、千葉大学真菌医学研究センター・研究生として勉強を始めました。一年間の研究生後、無事に修士過程に入学して研究を続けました。現在は博士課程に在学中です。

私の研究は、人に病気を引き起こす『カビ』についての研究です。カビというのはもう1つの呼び方として真菌と言います。真菌は微生物の一種で、真菌という名詞を聞くと、すぐ皆様の頭の中にくる言葉は、カビ、酵母、発酵食品などだと思います。私たちの日常生活で、真菌は食材、食品加工及び薬品など多くの面で我々の生活に役に立っていますが、時に病原性を発揮する真菌種類もごさいます。人に病気を起こす病原体としてはいくつかの種類があります。細胞の大きさの順番で言うと、寄生虫、真菌、細菌、ウイルス、プリオンなどです。皆様よくご存知のHIVや世界的に流行中のCOVID-19新型コロナウイルスはウイルスに所属しております。私が注目しているのは、真核生物に所属しているヒト細胞に類似した真菌です。真菌の形態は大きく二つに分けられます。糸状菌と酵母です。私の研究でさらに注目しているのは糸状菌です。真菌感染症は病巣の部位によって3つに分類されます。表在性、深部皮膚、深在性真菌感染症などです。表在性真菌感染症は皮膚および粘膜などの部位で発生します。代表的な病気として白癬、癬風、カンジダ症などです。深部皮膚真菌感染症は真皮および皮下組織などの部位で発生します。代表的な病気としてスポロトリコーシス症およびクロモミコーシス症などです。深在性真菌感染症および内臓真菌症、全身性真菌症とも呼び、主に日和見感染症として、肺や腸管など全身の各臓器に生じます。代表的な病気として播種性カンジダ症、侵襲性肺アスペルギルス症などがあります。

現在、私が行っている研究テーマは除菌剤(PHMB)に対して驚異的な耐性を示すペシロマイセスの耐性機構の解明です。ペシロマイセスは、糸状菌の一種であり、免疫不全患者および昆虫にも感染します。PHMBは、細菌、真菌、寄生虫およびある種のウイルスを殺菌し、消毒薬として、臨床、家庭および産業で幅広く数十年にわたって使用されています。これまでPHMBに対する耐性を有する糸状菌は報告されていませんが、最近、我々は、PHMBを含む製品に糸状菌が混入していることを発見しました。この単離された真菌は、ペシロマイセスとして同定されました。この耐性機構を解明するために、ペシロマイセスに対するPHMB耐性の誘導研究を行っています。この研究は日常生活のすべての側面に大きな貢献が期待できると思います。臨床面では、病気の治療や病気の予防について重要な情報を提供します。提供される遺伝情報は、遺伝子治療の重要な基礎となります。農業面では、新しい有効性の高い、安全な殺菌剤開発の基礎研究となります。

十枝の森草刈り



私は真菌医学研究センターおよび千葉大学医学研究科の先生方々のお陰で、以上のような研究活動を行って、日本国内および国際学会などでもいろんな研究発表をさせていただきました。また、千葉大学リーディング大学院プログラムの一員になって、リーディング大学院生として2015年ノーベル生理学・医学賞受賞者の大村智先生のレクチャーに参加する機会もいただきました。

また、私は今年度から日本最大の民間奨学財団であり「ロータリー米山記念奨学会」から奨学生として選ばれ、博士課程修了までサポートを受ける予定になりました。ロータリーとの縁がここから始まっております。貴財団のご関心及びサポートを通じて、今年のコロナ禍で全世界的に緊急事態になって、人々の生活は色々大変になっていた時期でも、自分の研究活動に専念させていただくことができました。サポートいただいたロータリアン様に感謝の気持ちがいっぱいです。また、人と接することが好きな私が、奉仕の精神を身に付けた様々な職業出身のロータリアンの方々と片言ながら話をするうちに、たくさんの方の価値観や思想に触れ、世界を広げることができました。これにより、私の将来の目標及び使命についてより明確になりました。

今後、ロータリークラブでいろいろな活動行う予定があり、またいろいろな方と接する機会がございますので、お互いにもっと深く理解いただける機会を楽しみにしております。今後は引き続き支援していただいた皆様への感謝の気持ちを忘れず、母国と日本の懸け橋になって、両国の共同発展に貢献したい、『できるだけ多くの人を幸せにする』ということを生身の目標として頑張っていきたいです。

また、ロータリー米山記念奨学会と同じように、社会に対する責任感および奉仕の精神が強い方々が集まった民間奨学財団の1つであり『東急財団』の奨学生になり、2017年4月から2019年3月まで、2年間『東急財団』のお世話になっており、留学生活でのサポートともに、日本の文化を体験する機会もありました。この間、文化体験として陶芸、茶道および国立演芸場で日本の曲芸など多くのことを体験しました。学校以外の文化体験より本気の意味で我々の視野を広くすることができました。いつも情熱で留学生の私たちにこんな最高の活動を主催いただいた『東急財団』の関係者皆様へ心より感謝を申し上げます。

私は将来、奉仕の精神を身につけた、医療研究分野を通じて社会に貢献できる人間になりたいです。自分の専門知識を通じて社会に貢献したいと強く希望しております。実用化されずに埋もれていく研究を、非常に残念に思いますが、そのため、私は応用研究を中心とする研究者を目指して頑張っていきたいです。また、日本の先端科学と豊かな文化を地元の人々に紹介して、両国の架け橋になりたいと思っております。

私の目指している将来像のもう1つのポイントとして、皆様のように社会貢献の最前線で頑張っている『ロータリアン』になりたいです。ロータリー米山記念奨学会の奨学生になった、このきっかけを大切に、ロータリー米山記念奨学会および日本との縁を続けるために、以下のことをやっていきたいと考えております。1つ目は、ロータリークラブの中国および中央アジアでの事業推進に貢献したいです。例えば、新疆ウイグル自治区でロータリークラブの事業を行うきっかけがありましたら、中国だけではなく、中央アジアのすべての国はこの利点を取得して、もっと多くのメンバーに参加してもらい、もっと多くの人を助けることが可能です。そのため、地元で社会貢献活動を行うのは非常に意味があることだと考えております。2つ目は、日本と母国の懸け橋になって、共同研究や共同事業などに貢献したいです。日本と母国の共同研究だけの架け橋になるのではなく、ほかの事業およびビジネスでも架け橋になって、より多くの人々に利益をもたらしたいです。また、いろんな社会活動や人生に対して、皆様から学ぶことが沢山ございますので、交流の時に色々教えていただければ嬉しいです。ぜひお願いいたします。最後に、今日のスピーチを私が最も好きな文章で終わりにしたいと思います。

“You become what you believe.” 人生は信じた通りになる
今後につきましては、ご支援いただいたロータリアンの皆様のように社会に貢献できる人間になれることを信じて、一生懸命頑張りたいと考えております。

本日、ご清聴ありがとうございました！

